



★本資料は東京商工会議所記者クラブ、情報通信記者会、総務省記者クラブ、体協記者クラブに配布しています。

報道関係各位

2013年3月27日
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

「アスリートイメージ評価調査」を実施

「ソチ五輪」で期待する競技はフィギュアスケート、スキージャンプ、カーリング。

「勢いを感じる」アスリートは高梨沙羅、羽生結弦、香川真司。「渋い」アスリートに井端弘和、山本浩二、稻葉篤紀。

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:大森壽郎)は、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:豊田真嗣)、データスタジアム株式会社(本社:東京都世田谷区 社長:加藤善彦)と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」を行いました。

「ソチ五輪で活躍を期待するアスリート・チーム・団体」は、1位に浅田真央(フィギュアスケート)、2位に高梨沙羅(スキージャンプ)、3位にフィギュアスケート選手。

「ソチ五輪で活躍を期待する競技」は、1位にフィギュアスケート(シングル)、2位にスキージャンプ、3位にカーリング。日本の活躍が目覚しい競技、アスリートが上位にきており、開催時の盛り上がりも期待できます。

「2020年五輪で採用して欲しい競技」は、1位にレスリング、2位に野球、3位にソフトボール。今後の招致活動も含め、期待を込めた結果となっています。

イメージ総合ランキング上位は、1位にイチロー(野球)、2位に浅田真央(フィギュアスケート)、3位に吉田沙保里(レスリング)、4位に澤穂希(サッカー)、5位に本田圭佑(サッカー)という結果となり、世界のトップレベルで活躍し続けるアスリートがランクインしています。

「好感がもてる」アスリートは、1位に高梨沙羅(スキージャンプ)、2位にイチロー(野球)、3位に浅田真央(フィギュアスケート)、4位に長谷部誠(サッカー)、5位に稻葉篤紀(野球)という結果となり、実力と人気を兼ね備えた選手がランクインしています。

「華やかな」アスリートは、1位に浅田真央(フィギュアスケート)、2位にキム・ヨナ(フィギュアスケート)、3位に高橋大輔(フィギュアスケート)、4位に村上佳菜子(フィギュアスケート)、5位にイチロー(野球)という結果となり、競技のイメージとも合致し、周りの雰囲気も明るくしてくれるようなアスリートが上位を占めています。

「渋い」アスリートは、1位に井端弘和(野球)、2位に山本浩二(野球)、3位に稻葉篤紀(野球)、4位に鳥谷敬(野球)、5位に白鵬(相撲)という結果となり、WBCで活躍したアスリートのランクインが目立ちました。

「常にチャンレンジ精神を持ち続けている」アスリートは、1位にイチロー(野球)、2位に浅田真央(フィギュアスケート)、3位に川内優輝(マラソン)、4位に吉田沙保里(レスリング)、5位に長友佑都(サッカー)という結果となりました。

「勢いを感じる」アスリートは、1位に高梨沙羅(スキー＜ジャンプ＞)、2位に羽生結弦(フィギュアスケート)、3位に香川真司(サッカー)、4位にダルビッシュ有(野球)、5位に錦織圭(テニス)、前田健太(野球)という結果となり、海外での活躍が目覚ましい若手アスリートが上位になっています。

この調査はCMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、対象アスリートの認知、好意度のほか、博報堂DYメディアパートナーズが独自に構築した29項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。

博報堂DYメディアパートナーズでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価がどのように変化していくのか分析を行ってまいります。

■主な調査結果

1) “ソチ五輪で活躍を期待するアスリート・チーム・団体”には、「浅田真央」「高梨沙羅」「フィギュアスケート選手」

- 1位：浅田 真央(フィギュアスケート)
- 2位：高梨 沙羅(スキー＜ジャンプ＞)
- 3位：フィギュアスケート選手
- 4位：スキー＜ジャンプ＞選手
- 5位：高橋大輔

2) “ソチ五輪で活躍を期待する競技”は、「<フィギュアスケート>シングル」「<スキー>ジャンプ」「カーリング」

- 1位：<フィギュアスケート>シングル
- 2位：<スキー>ジャンプ
- 3位：カーリング
- 4位：スピードスケート
- 5位：<スキー>フリースタイル(モーグル)

3) “2020年五輪で採用して欲しい競技”は、「レスリング」「野球」「ソフトボール」

- 1位：レスリング
- 2位：野球
- 3位：ソフトボール
- 4位：空手
- 5位：ラクロス

4) イメージ総合ランキング上位は、「イチロー」「浅田真央」「吉田沙保里」

- 1位：イチロー(野球)
- 2位：浅田 真央(フィギュアスケート)
- 3位：吉田 沙保里(レスリング)
- 4位：澤 穂希(サッカー)
- 5位：本田 圭佑(サッカー)
- 6位：北島 康介(水泳)
- 7位：長友 佑都(サッカー)
- 8位：中田 英寿(サッカー)
- 9位：長谷部 誠(サッカー)
- 10位：高橋 大輔(フィギュア)

5) “好感がもてる”アスリートには、「高梨沙羅」「イチロー」「浅田真央」

- 1位：高梨 沙羅(スキー＜ジャンプ＞)
- 2位：イチロー(野球)
- 3位：浅田 真央(フィギュアスケート)
- 4位：長谷部 誠(サッカー)
- 5位：稻葉 篤紀(野球)

6) “華やかな”アスリートには、「浅田真央」「キム・ヨナ」「高橋大輔」

- 1位：浅田 真央(フィギュアスケート)
- 2位：キム・ヨナ(フィギュアスケート)
- 3位：高橋 大輔(フィギュアスケート)
- 4位：村上 佳菜子(フィギュアスケート)
- 5位：イチロー(野球)

7) “渋い”アスリートには、「井端弘和」「山本浩二」「稻葉篤紀」

- 1位：井端 弘和(野球)
- 2位：山本 浩二(野球)
- 3位：稻葉 篤紀(野球)
- 4位：鳥谷 敬(野球)
- 5位：白鵬(相撲)

8) “常にチャレンジ精神を持ち続けている”アスリートには、「イチロー」「浅田真央」「川内優輝」

- 1位：イチロー(野球)
- 2位：浅田 真央(フィギュアスケート)
- 3位：川内 優輝(マラソン)
- 4位：吉田 沙保里(レスリング)
- 5位：長友 佑都(サッカー)

9) “勢いを感じる”アスリートには、「高梨沙羅」「羽生結弦」「香川真司」

- 1位：高梨 沙羅（スキー＜ジャンプ＞）
- 2位：羽生 結弦（フィギュアスケート）
- 3位：香川 真司（サッカー）
- 4位：ダルビッシュ 有（野球）
- 5位：錦織 圭（テニス）
- 5位：前田 健太（野球）

■調査概要

- ・調査方法： インターネットアンケート調査
- ・調査地区： 首都圏＋京阪神圏
(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)
- ・調査対象者： 対象エリアに在住の15～69歳の男女
- ・有効回収サンプル数： 600サンプル
- ・調査期間： 2013年3月13日～18日

■本件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ	広報グループ	西原・山崎	03-6441-9347
	統合コミュニケーションデザインセンター	大足	03-6441-9772